

(株)夢ファーム
岡山県岡山市

基本情報

- ・ 気候：温暖、少雨、多照
- ・ 土質：壤土
- ・ 従事人数：2人
- ・ 臨時雇用：3人(180日)
- ・ 飼料用米の作付開始：H21年度

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	5ha	14a
主食用米(直播)	21.8ha	14a
加工用米(移植)	3.3ha	14a
飼料用米(直播)	15ha	14a
麦類	14.9ha	—

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 乾田直播種栽培による水稲－麦作体系
- ・ 徹底した省力化と経営規模拡大
- ・ 中生、晩生品種を組み合わせた作業分散
- ・ ICT活用による農業経営の改善

稲作のコスト低減の取組

【乾田直播栽培】

- ・ 麦作と同一機械が使用可能
- ・ 育苗作業が省力化でき、育苗用資材が不要
- ・ 播種が水利慣行に影響されず、作業期間の延長可能

①コンパクトディスクハローによる耕起作業

- ・ 有機物の埋没、作業時間の短縮

②バッチカルハローシーダーによる播種作業

- ・ 播種機改良による少量播種(10a播種量2kg(栽培暦4~8kg))
- ・ 整地の安定(播種精度、除草効果向上)

適用条件等

- ・ 適期除草とほ場の均平化、播種時の乾田化(苗立率向上)、移植田からの流水や漏水防止のため畦畔管理の徹底
- ・ ほ場条件(土壌水分)等によって播種深度と鎮圧調整が必要

導入効果

- ・ 育苗、田植え
労働時間 ▲約3割
(慣行移植栽培と乾田直播栽培の比較)

支援体制

- ・ 農機具メーカーによる情報提供により乾田直播栽培に取組む

課題・今後の目標

- ・ 高収量の実現と技術の安定化
- ・ 移植栽培に比べ、施肥・除草コストが増えている。



バッチカルハローシーダー